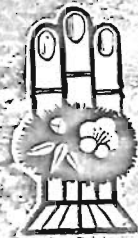
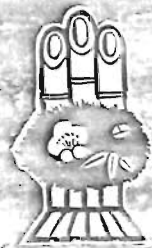


豊島区広報

新春お知らせ特集



男 一六八、六一六
女 一六〇、七六六
(三四・一一・一現在)

計

二二三、三六七人
(三四・九・一五現在)

公園
児童遊園地

二ノナ、三ノ二、
一ノ二カ所
二ノ二カ所
(三四・一一・一現在)

本籍人口
住民登録人口

二九三、九六四
三二八、七九四
(三四・一二・一現在)

つけた三ケタ数字になります。

新年の挨拶

豊島区長 木村秀崇



昭和三十五年の新春を迎えるに当たり、本区三十有九万区民の御健康を祈り、併せて豊島区の繁栄を祈念いたします。

過ぎし一年を回顧すれば、昨春皇太子殿下の御成婚の偉業がとり行われ、全国民等、ついで慶祝中、御慶びの御生を祈念申し上げたのでございます。又、地方議員の改選が行われ、地方自治の発展に資する住民の御賛助を蒙り、地方行政の刷新に、更に強固なる体制を確立致しましたことは誠に喜ばしく、堪えきれません。

一方、科学の長足なる進歩は、なほ日進月歩の如く、一月の真面目を見ることが出来ましたなど、非常に感銘ある年でございます。

さて、本区は全区民の愛護の基盤を基調とした官民一体の努力が結実せられ、戦前を凌駕する躍進的な発展を遂げ、こゝに大豊島区の見事な発展を見たと見ます。

増えたる一環を基盤とした本区再建に当っては、先ず終戦直後の第一期はその主力を復興に注ぎ、第二期は躍進する豊島の基盤の確立に努力致した次第であり、第三期は小規模区長選任以来、先づ先ずのうちに、立派な土台とし、適切な運営を計り、更に一大躍進すべくその総合的仕上に全力を注ぎ、第三期計画の完成を期すことと致した次第であります。

幸にも各層ある区議会を中心に、区民各位の心からなる協賛力を頂き、その御賛助の御推進力となり、今や本区の前途は洋々たるものがあり、私の衷心より感謝申し上げる次第であります。

昭和三十五年を迎えて



年頭の辞

豊島区議会議員 森 茂吉

区民の皆様
豊島区三十五年の新春をめでたくお迎えなされました事を心よりお慶び申し上げます。

区民各位のひとかたならぬ御支援と御支持により、昨年五月の改選期にわたり、十四名は、豊島区議会議員に当選、ここに初の新年を迎えられた事を衷心より御慶び申し上げます。

不肖、昨年六月に、名譽ある豊島区議会議員の要職に就かれ、政力を尽くさず、おこなった事は、唯々区政の発展に努めたに過ぎません。

今年には、既往の災禍を回顧して、更に我々の反省を踏まえ、新しき年に於ては、従来の教育、土木、第二の行政区の各分野に亘る事務事業につき、議員各位の御協力を得て、尚、心努力いたし、住み良い文化豊島区の発展と三十二万区民の皆様の福祉向上、為し、及ばずながらも、またえられた御賛助に、誠心誠意を捧ぐる覚悟であります。

特に本年は、旧暦節足いたしました国民健康保険事業、或は、行政上の建設等、其の円滑なる進捗を期するものが多々ございます。どうぞ今後とも、よろしくお願ひ申上げ、御協力を賜り、誠に御慶び申し上げます。本年も区民の皆様と御交際を心よりお祈り申上げ、新年の挨拶といたします。

謹賀新年

昭和三十五年元旦

区 長 木村秀崇 助役 日比寛道
 収入役 吉田敬雄
 議長 森茂吉 副議長 佐々木庄治郎

豊島区議会
 議長 森茂吉
 副議長 佐々木庄治郎
 (印委員長) (印副委員長)

総務委員会

委員長 佐々木庄治郎
 委員 山下虎雄 藤茂吉 島田勝太郎
 井上浩一 河部静枝

財務委員会

委員長 早川繁太郎
 委員 足立藤太郎 花山豊三郎 前田弘
 今泉太郎 的場茂 杉浦茂

商工厚生委員会

委員長 萩野間氏
 委員 市川ムツロ 元谷字吉 池田三郎
 神林平吉 森澤二 代永重雄

文教委員会

委員長 竹内武安
 委員 橋本とし子 菱さのい 有沢果
 田村為次郎 宮沢正 矢島博文

建設委員会

委員長 吉田鉄蔵
 委員 山口幸之助 松本義雄 河村孝信
 鈴木栄次郎 土屋剛 加藤太一

特別委員会

特別区政調査特別委員会
 委員長 加藤太一
 委員 市川ムツロ 有沢果 河村孝信
 橋本とし子 島田勝太郎 池谷みや子
 松本義雄 前田弘 竹内武安
 早川繁太郎 萩野間氏 鈴木栄次郎
 森幸二 山家和田子 杉浦茂
 塚越常三 今泉太郎

豊島区教育委員会

委員長 坂井進
 委員 小野重内
 委員 初見成一
 委員 斎藤一

豊島区選挙管理委員会

委員長 安田安久太郎
 委員 福寿鶴吉
 委員 中山正雄
 委員 山好象

監査委員

委員 矢島博文
 委員 灰原貴光

豊島区役所

区 長 木村秀崇
 助 役 日比寛道
 収入 役 吉田敬雄
 総務 課長 田中隆雄
 財務 課長 橋場美隆
 自治 課長 助役事務取扱
 税務 課長 三芳一助
 民生 課長 松沢鶴之助
 戸籍 課長 島田貞雄
 商工 課長 山本正二
 国民健康保険課長 田敏三
 土木 課長 後藤軍一
 建築 課長 田中里吉

区議会事務局

事務局長 金崎政隆
 教育委員会事務局
 字教育課長 小山昌則
 社会教育課長 小山昌則
 指導室長 小山昌則

区議会の活動

地方自治法制定後、丁度第四期目に当る今期の豊島区議会は、昨年五月改選以来、内部的には其の活動を遂げ、外部的には各種の活動を活発に続けて来たのである。其の概況は左記のとおりである。なお別掲の常任委員会及特別委員会のほか、

○豊島区庁舎建設委員会
 ○豊島区中心建設促進委員会
 ○池袋駅東口交通対策促進委員会
 ○池袋駅前移転期成常設委員会

各種委員会開催回数
 一、自昭和三十四年四月 七回
 一、自昭和三十四年五月 一六回
 一、自昭和三十四年十一月 一六回
 (改選後) 一九回

請願陳情件数
 一、自昭和三十四年一月 一五
 一、自昭和三十四年四月 一五
 一、自昭和三十四年五月 三〇
 一、自昭和三十四年十一月 三〇
 (改選後) 四五

区役所出張所管轄区域

出張所	管轄区域
第一出張所	池袋三ノ三、池袋四九七五
第二出張所	池袋一〇四三、池袋二〇四三
第三出張所	池袋二〇四三、池袋二〇四三
第四出張所	池袋二〇四三、池袋二〇四三
第五出張所	池袋二〇四三、池袋二〇四三
第六出張所	池袋二〇四三、池袋二〇四三
第七出張所	池袋二〇四三、池袋二〇四三
第八出張所	池袋二〇四三、池袋二〇四三
第九出張所	池袋二〇四三、池袋二〇四三

区別	区議会議決内訳件数									
	本会議	常任委員会	特別委員会	議決	議決	議決	議決	議決	議決	議決
昭和34年1月~4月マデ	3	16	5	7	6	9	1	1	1	2
5月~11月マデ	5	26	9	5	3	1	7	4	1	3
計	8	42	14	12	9	1	16	5	2	5

区議会に請願陳情する場合
 請願及び陳情は、最後の民主政治に新しく採用されたもので、区が持つべき重要な仕事の一つとして、区民の持てる要求を区議会に提出し、その実現を期すことは、請願又は陳情をするときは、請願書又は陳情書を提出し、自分の署名をいり、議長に提出すればよい。この場合、請願書には、区民の署名を必要とし、陳情書には、議員の紹介はいりません。

出張所で扱う主な事務
 1. 住居転入及び住民登録に関する事務
 2. 主税交付金に関する事務
 3. 印章証明に関する事務
 4. 戸籍に関する事務
 5. 区民の収納に関する事務
 6. 死亡届の受理、埋火葬許可証の交付、国民健康保険の交付
 7. 寄附金に関する事務
 8. 投票券の発給に関する事務
 9. 区政地区委員、同協力員に関する事務
 10. 保健衛生に関する事務
 11. 区政の周知徹底に関する事務

施設の

●豊島公会堂
 池袋駅下車五分という交通の便にめぐまれた豊島公会堂は、収容人口千三百名の鉄筋コンクリート造三階建てで、古典、音楽、演劇、演説、映画会等城北地区の文化の中心として、広く利用されております。使用料は午前四時、午後七時、夜間九時、全日一万八千円で休日や土曜日は二割増、入場料を徴収する場合は五割増になります。その他使用料を徴収して祝賀台、ピアノ、解風、照明機、送写機等も備付されております。お申込み、お問合せは公会堂係へ

●豊島図書館
 豊島公会堂のすぐ裏にあり小集会のための会議室や日本間、茶室や結婚式場をそなえております。特に結婚式場は本年十月に開所以来二千組目の結婚式を行なう等大いに利用されております。会議室は十名位の集会から百名位の集会まで利用出来ます。使用料等は多種にわたりますので公会堂係へお問合せ下さい。

●豊島区総合体育場(西池袋一、三三七部電向原下車)
 区民の文化と教養の向上発展に資するために設立された区立豊島図書館は、豊島公会堂東三十三号六月設立されました。収容数は一四二七冊、収容人員は約三百名で毎月十四日と祭日を除き毎日九時より午後五時まで開館いたしております。利用者は毎日平均八百名程になつております。

●豊島区総合体育場(西池袋一、三三七部電向原下車)
 野球場 二面 二時間 二百円
 テニスコート 四面 一時間 四十円
 バレーコート 一面 右 全日 四十円
 卓球 四台 一日 二十円
 弓 一人立 一人立 一日 十円
 ブレーン 一人立 一人立 一日 十円
 使用ご希望の方は土木課に予約申して下さい。



豊島公会堂 (池袋駅)

豊島区現況

世帯 五三、六八七
 人口 三三九、三八二

基本選挙人名簿登録者数

男 一〇七、七六八
 女 一〇五、六五一

豊島区面積

一三、〇一平方キロ
 一六、七二九七平方メートル

人口動態関係

出生 三、二〇五
 死亡 一、四〇三
 転入 三、七六四
 転出 一、七六四

本特集号の電話番号のうち電話番号は二月七日より現在の局番の末尾に「二」を